

6 本時の目標と展開 (授業① 2年2組)

(1) 本時の授業構想図

本時のねらい	3位数－2位数（十、百の位から繰り下がりあり）の筆算の仕方を理解し，説明できる。	
振り返り	「一の位も，十の位もひけないときは，一の位から順番に，1つ上の位から繰り下げて計算すればできるといことが分かった。それを繰り返せば，何千，何万の筆算もできそうだ。」	
本時のバージョンアップされた考え	繰り下がりの回数がふえても，1つ上の位から繰り下げて計算すればいい。十の位や，百の位からの繰り下がりのある筆算の仕方と同じ考えだ。	
本時の「しなやかに考える子ども」の姿	「はじめに十の位から繰り下げて，つぎに百の位から繰り下げて計算すればいい。筆算や数カードで説明しよう。」	
しなやかさに欠ける子どもへの支援	既習を想起させたり，数カードの操作を行ったりし，1つ上の位から繰り下がりを行うことに気付かせる。	
ギャップを乗り越えさせるための算数的活動	筆算や数カードで考えさせ，繰り下がりを行って2回行うことに気付かせる。筆算と数カードを関連させながら説明させる。	
ギャップ (違いやつまずき)	一の位も十の位もひけない。	
既習	2位数－2位数 3位数－2位数（百の位からの繰り下がり1回） 十進法取り記数法	
問題	146－89の計算	
評価規準	3位数－2位数（十、百の位から繰り下がりあり）の筆算の仕方を理解し，説明できる。（数学的な考え方）	
評価の具体	十分満足と判断される状況	努力を要する状況の児童への手立て
	一の位から順に，1つ上の位から繰り下げる計算の仕方を，図と結び付けて理解し，説明できる。	数カードを用いて，一の位から順に1つ上の位の数に繰り下げると計算できるといことを視覚や操作から気付かせる。

(2) 本時の目標

3位数－2位数（十、百の位からの繰り下がりあり）の筆算のしかたを理解し、説明ができる。

(3) 本時の展開

段階	学習活動と予想される児童の反応	留意点(・)と評価(□) しなやかに考える子どもの姿(※)						
つかむ 7分	<p>1 問題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> $\begin{array}{r} 146 \\ - 89 \\ \hline \end{array}$ </div> <p>○前の問題との違いは何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前は一の位はひけたけど、今日は一の位も十の位もひけない。 ・2回繰り下げなければいけない。 <p>2 課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>一の位も十の位もひけないときのひっ算のしかたを考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の筆算を提示し、本時の筆算との違いに気付かせる。 ・一の位も十の位もひけない時の筆算の仕方について考えていくことを確認する。 						
考える 4分	<p>3 自力解決をする。</p> <p>○数カードで計算の仕方を考えてみましょう。 計算の仕方を説明できるようにしましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全員に数カードで考えさせる。 <p>※（仮説1に関わって）</p> <p>十、百の位から繰り下げて計算することを、既習を基に筆算や数カードで考えている。</p> <p>「一の位がひけないときは、十の位から1繰り下げます。」</p> <p>「十の位がひけないときは、百の位から1繰り下げます。」</p>						
つくる 12分	<p>4 学び合う。</p> <p>○自分の考えを発表しよう。</p> <p>数カード</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">百</th> <th style="width: 30%;">十</th> <th style="width: 30%;">一</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100</td> <td>10 10 10 10 10</td> <td>1 1 1 1 1 1 1 1 1</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">$13-8=5$ $16-9=7$</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6－9はできないので、十の位から10のまとまりを1つ、一の位に繰り下げてばらの1にします。そうすると16－9は7です。 ・十の位は、1くり下げたので3になります。3－8はできないので、今度は百の位から、100のまとまりを1つ、十の位にくり下げて、ばらの10にします。そうすると、13－8で5です。 	百	十	一	100	10 10 10 10 10	1 1 1 1 1 1 1 1 1	<ul style="list-style-type: none"> ・一の位の数ひけないときは、十の位から十を一つ、一の位にもってきて、ばらの1にすることをおさえる。 ・十の位の数ひけないときは、百の位から百を一つ、十の位にもってきて、ばらの十にすることをおさえる。
百	十	一						
100	10 10 10 10 10	1 1 1 1 1 1 1 1 1						

	<p>・十の位が5で、一の位が7で、答えは57です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> $\begin{array}{r} \textcircled{10} \textcircled{10} \\ 3 \\ \cancel{14}6 \\ - \quad 89 \\ \hline 57 \end{array}$ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 100px; text-align: center;">一の位の計算</div> </div> <p>十の位から1くり下げる $16 - 9 = 7$</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> $\begin{array}{r} \textcircled{10} \textcircled{10} \\ 3 \\ \cancel{14}6 \\ - \quad 89 \\ \hline 57 \end{array}$ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 100px; text-align: center;">十の位の計算</div> </div> <p>1くり下げたので3 百の位から1くり下げる $13 - 8 = 5$ $146 - 89 = 57$</p> <p>○筆算で計算するときはどうしたらいいかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一の位がひけないので、十の位から1繰り下げる。 ・十の位がひけないので、百の位から1繰り下げる。 ・一の位も、十の位もひけないときは、一の位から順番に、1つ上の位から繰り下げて計算すればできる。 	<p>・十の位の1を繰り下げると、一の位で1が10個あること、百の位の1を繰り下げると十の位で10が10個になることをおさえる。</p> <p>※（仮説2に関わって）</p> <p>3位数－2位数の計算の仕方について、数カードと筆算を関連づけて説明させたり話し合わせたりする。</p> <p>計算の手順をペアで説明させ、理解を深めさせる。</p> <p>「一の位も十の位もひけない時は、繰り下がりを2回すればいいです。」</p> <p>「一の位も十の位もひけない時は、1つ上の位から繰り下がりをすればいいです。」</p> <p>考 既習を基に、3位数－2位数（十、百の位からの繰り下がりあり）の筆算の仕方を考え、説明している。（発言、ノート）</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まとめ 8分</p>	<p>5 学習のまとめをする。</p> <p>○一の位も十の位もひけないときの筆算の仕方をまとめよう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> $\begin{array}{r} \textcircled{10} \textcircled{10} \\ 3 \\ \cancel{14}6 \\ - \quad 89 \\ \hline 57 \end{array}$ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 100px; text-align: center;">一の位の計算</div> </div> <p>十の位から1くり下げる $16 - 9 = 7$</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> $\begin{array}{r} \textcircled{10} \textcircled{10} \\ 3 \\ \cancel{14}6 \\ - \quad 89 \\ \hline 57 \end{array}$ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 100px; text-align: center;">十の位の計算</div> </div> <p>1くり下げたので3 百の位から1くり下げる $13 - 8 = 5$ $146 - 89 = 57$</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> 一の位からじゅんばんに、1つ上の位から1くり下げて計算する。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの位の計算について確認し、繰り下がりの計算について理解を深める。 ・前時の考え方と関連させ、同じ考え方であることにふれてまとめる。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">つなげる 14分</p>	<p>6 適用問題を解く。</p> <p>○筆算で計算しよう。</p> <p>P91 $\triangle 2$に取り組む。</p> <p>7 学習の振り返りをする。</p> <p>○振り返りをノートに書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの視点として今日分かったことを書かせる。

<ul style="list-style-type: none"> 一の位も十の位もひけない計算は、2回繰り下がりをするれば計算できることが分かりました。 一の位も十の位もひけない時は、1つ上の位から1繰り下がりをするればいいことが分かりました。 <p>8 次時の学習内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一の位も十の位もひけないときは、1つ上の位から1繰り下げるとい考えは、数が大きくなっても同じ考えで計算できるということにふれる。 次時もひき算の筆算の学習をすることを知らせる。
---	---

(4) 本時の板書

9月26日(月)

146

89

一の位も十の位もひけないときのひき算のしかたを考えよう。

一の位からじゅんばんに、1つ上の位から1つくり下げで計算する。

△₂

125

49

一の位も十の位もひけない

数カード

百	十	一
100	10 10 10	1 1 1
	10 10 10	1 1 1
	10 10 10	1 1 1
	10 10 10	1 1 1
	10 10 10	1 1 1
	10 10 10	1 1 1
	10 10 10	1 1 1
	10 10 10	1 1 1
	10 10 10	1 1 1
	10 10 10	1 1 1

13-8=5 16-9=7

百の位から1くり下げる

十の位から1くり下げる

⑩ ⑩

3

146

一の位の計算

十の位から1くり下げる

16-9=7

89

57

十の位の計算

1くり下げたので3

百の位から1くり下げる

13-8=5

146-89=57